

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-54C	16-103	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Characteristics of patients with liver cancer in the BioBank Japan project. バイオバンク・ジャパンにおける肝がん患者の特性		
執筆者		
Ukawa S, Okada E, Nakamura K, Hirata M, Nagai A, Matsuda K, et al.		
掲載誌		
J Epidemiol. 2017 Mar;27(3S):S43-S48. doi: 10.1016/j.je.2016.12.007. Epub 2017 Feb 15.		
キーワード	PMID	
肝がん、バイオバンク、累積生存率、毎日飲酒	28214185	
要 旨		
目的： 2003 年～2007 年に患者登録が行われたバイオバンク・ジャパンには、47 疾患、約 20 万人の生体試料が集積されている。このうち、肝がん患者の特性を報告する。		
方法： 肝がん患者として本バイオバンクに登録されたのは 1,733 人（うち男性が 1,316 人）。生活歴、組織学的・臨床的特性、死因等の情報が含まれており、累積相対生存率等を検討した。		
結果： 組織診断がなされた 1,354 人中 91.9%が原発性肝細胞がんだった。国民健康・栄養調査の結果と比較して、本集団では毎日飲酒者の割合が高く(26%)、男性では過体重・肥満者が多かった(22%)。日本ではアジア圏で唯一 C 型肝炎ウイルス (HCV) 由来の肝がんが多いことが知られているが、HCV 陽性者の割合は 44%で、国内の既存研究と比べ少なかった。診断確定後 90 日以内の者の 3 年後、5 年後、10 年後の累積相対生存率は、男性で順に 57%、47%、25%で、女性では順に 49%、41%、27%だった。		
結論： バイオバンク・ジャパンにおける肝がん患者の特性を概観した。今後、この貴重なデータについて様々な角度から高度で包括的な検討を行なう予定である。		